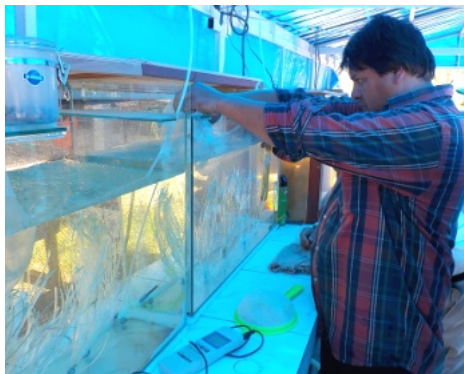


世界平和地球村の建設と自然環境の保護

私たちはパンタナールのオリーブの木
どんな困難にも、愛を持って立ち向かえる
覚悟ができている一人ひとり♪



マグノ教授が稚エビを点検する。



観察用の小水槽にも稚エビを入れる。



レダ基地では

アストロの稚魚を見る権教授と中田所長



鮮文大学の権赫樞教授(右)を歓迎する中田実所長



左より、中田所長、佐野氏、マグノ教授、権教授、奥迫さん夫妻



パンタナール研究所の新しい看板



野口君とレダ産のハチミツ



ユーラリアさんが美味しい料理を。



カトルセ・デ・マジヨ村の子供たちと。



21日研修生たちがブタランドを見学。



暑さと蚊に耐えて、植樹園の草刈りに汗を流す研修生たち。



養殖パクーの収穫と、内臓の処理を体験して、にっこり。

新年会2018

テーマは愛燦燦と！福地建設勝利！

二月三日（土）東京渋谷の会場で南北米福地開発協会の新年会が開かれ、全国各地より、百九十名を超える会員が参加しました。

テーマは「愛燦燦と！福地建設勝利！」

プログラムは二部構成で、まず第一部として、二月度の定例集会を持ち、創始者韓鶴子総裁の進める世界平和活動の最新の躍進を伝える映像を視聴し、その現場からの報告を受け、希望的なビジョンと決意を参加者全員で共有する時間となりました。

祝歌は「パンタナール讃歌」です。竹ノ内美紀さんが情感豊かに歌い、聴衆の心を、レダの美しく雄大な大自然と、先駆者の心情へと誘いました。

午後からの第二部では、はじめに昨年中に他界された、功労ある先輩諸氏への感謝の想いを胸に、全員で黙祷を捧げました。そして久保木哲子先生による激励の辞があり、島田賢二青年局長による昨年一年間の当会の歩みを簡潔にまとめたプレゼンテーションがなされました。

次いでレダ基地からの帰国報告となり、小橋恵造レダ商品開発部長と、最長老開拓者の一人である坂口松三郎氏とが、それぞれの実体験に基づき、示唆と教訓とユーモアに富んだ報告をしました。

そしてエンターテインメント。孝成家庭教会の青年たちによる躍動感みなぎる歌とダンスに始まり、優雅な韓国舞踊、周誠紀さんによる美しい音色のタンソ（朝鮮笛）演奏が披露され、本格的な芸術に魅了されるひと時となりました。

締めくくりは、中田欣宏理事長による今年度の活動方針の発表。全国から駆け付けた七名の総支部長たちも紹介されました。そしてお楽しみ景品当選者の発表、全員での愛唱歌斉唱と後藤誠一東京総支部長の音頭取りによる万歳三唱



楽しい昼食と交流のひとつ。

通ルートの確立、放牧地の効果的活用、次世代への技術および伝統的精神の相続、教育や研修の場としての環境整備にも、一層力を入れて行きます。さらに近隣コミュニティとの協力の輪を広げ、愛の燦々と降り注ぐ福地建設を、着実に進めていく方針です。（小田記 写真・石川仁）

二十一日研修生から感謝のこぼれ（一面記事参照）

レダの先生方へ 私たちは、神様の創造本然の願いを成就するために、皆様がなしていらっしゃるすべての努力と最大限の精誠に、心から感謝いたします。私たちは今回の研修会に参加して、レダのプロジェクトを可能ならしめる皆様の深い愛情を感じました。また、先生方と従業員たちの中に、すべてを可能ならしめんとする強い意欲を感じました。



研修会終了式で歌う青年たち。（2月1日）

皆様の講話を聴いて、私たち一人一人は、そのプロジェクトを相対したいと思いました。皆様の努力と犠牲を無駄にしてはならないと感じました。私たちは皆様方のような人物にお会いできたことをとてもうれしく思い、とても誇りに思います。そしてこのプロジェクトに対して今後強い関心を持っていくことを皆様方にお約束します。

パンタナールのオリーブの木（訳・佐野道准）

私たちの使命はお手伝いすることであり、一緒に活動すること。

いつも一つになって、とどまることなく、周りの人々を大切にしながら、誰をも傷つけることなく。

私たちはパンタナールのオリーブの木、私たちは特別な使命を持っている。

みんな一緒に共に助けあおう。

私たちの目標は平和の世界を造ること。

ついに世界が神の懷に帰ってくるために。

私は周囲の人々を助けるオリーブの木、あなたは私を助けてくれるオリーブの木、

私たちはみんなオリーブの木。

どんな困難にも愛を持って立ち向かえる覚悟ができて一人一人。

ここパンタナールは本来のエデンの園。みんな共に愛し合い、喜びあつて生きる場所。親から愛することを学びながら。

ここパンタナールは特別な場所。

悪魔が支配することをあきらめたところ。

親たちが勝利をしたところ。

これがパンタナールの良きオリーブの木の木。

とをとてもうれしく思い、とても誇りに思います。

そしてこのプロジェクトに対して今後強い関心を持っていくことを皆様方にお約束します。

素晴らしいご指導をありがとうございました。また、皆様方からこのプロジェクトを進めてくれたことを知る機会を与えて下さって、ありがとうございます。

どうも皆様方、私たちのことを忘れないでください。何故なら、私たちは、皆様方を私たちの心の中にずっと抱いていくつもりですし、皆様方が持つおられる愛の心情を常に記憶して行きたいと思うからです。心より感謝を込めて。

二〇一八年二月、21日研修生一同（訳・佐野道准）



第十六回パンタール一日特別研修会ご案内

本年最初の一日特別研修会（ワンデイセミナー）を、左記の要領で開催します。寒かった冬が過ぎ、待ちに待った春爛漫の頃、ご家族や友人を誘うとても好い機会です。初めて参加される方も、リピーターの方も、新たな知見と希望を共有していただけるよう、プログラム内容に工夫を凝らしています。

日時 四月十四日（土） 十時受付、五時終了予定

会場 国立オリンピックピック記念青少年総合センター国際交流棟二階セミナー室（小田急線参宮橋駅徒歩七分、または渋谷駅西口40番乗場バス代々木五丁目下車）

参加費 二〇〇〇円（昼食を含む） 当日受付にて

参加を希望される方は、応募用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールで、下記の法人事務局宛てお申し込みください。（応募用紙の請求も）

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会

共催 NPO法人 地球の緑を守る会

プログラム（予定）

●「南米レダプロジェクトの現状と理想郷建設」講師…柴沼邦彦「当法人理事

●「地球環境問題の今とその方策」講師…高津啓洋「NPO地球の緑を守る会代表

●レポーター 島田賢二「青年局長、三宅孝好」第十七回青年奉仕隊員、レダ中期ボランティア



青少年総合センター国際交流棟



タブノキの下で野外講義（2017年4月）



陽捷行先生。（2015年5月10日）

語る農林業』ほか多数。

土壌学・環境科学の専門家 陽捷行先生再び！
第二十一回環境問題研究セミナーご案内
左記の要領で開催します。皆様、ご参加ください。
日時 三月十七日（土）午後一時半から
会場 大山街道ふるさと館三階セミナールーム
主催 一般社団法人 南北米福地開発協会
参加費 無料 ただし会場の都合により、予め参加者の登録をしますので、ファックスまたはメールで、下記の当法人事務局宛てお申し込みください。
講師は、第十回環境問題研究会（二〇一五年五月十日実施、本紙一四一号参照）でなされた珠玉の講義が私たちを大いに啓発した、陽捷行（みなみかつゆき）先生です。ご期待ください。陽先生は土壌学・環境科学の専門家。日本土壌肥科学会賞、環境庁長官賞・優秀賞、日経地球環境技術賞・大賞、日本農学賞・読売農学賞、国際大気汚染防止団体連合Yuan T. Lee国際賞などを受賞。IPCCチーフリードオースターも務められました。現在（公財）農業・環境・健康研究所 農学大学校長。著書に、『土壌圏と大気圏』『地球環境変動と農林業』『環境保全と

Portulaca ポルトウラカ



野生種

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール：office@asd-nsa.com

ホームページ：asd-nsa.com

会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局：

office@asd-nsa.com
へお願いします。